



NICU 再稼働の日を迎えて — 2018.07.01 —

2012年10月、諸事情よりNeonatal Intensive Care Unit (NICU：新生児集中治療室)を休止せざるを得ない状況となりました。2000年にNICUを開設して以来、産科医療と小児科医療に対して特に力を入れ、多くの未熟児を受け入れていた当院の役割は大きく、地域の皆様方には多大なるご迷惑をおかけ致しました。この場をお借りして、改めてお詫び申し上げます。

その後、成宮前院長を中心にNICUの再開に向けたプロジェクト会議が定期的に開催されました。当院小児科医師の派遣母体である東京慈恵会医科大学小児科学講座井田教授とも度々面談をさせて頂きました。結果として、多数の小児科医師を派遣して頂くことになり、スタッフの人数も最大9人まで増員することができました。なお医師派遣の条件として、若手医師を十分に指導できる優れた医師の確保が挙げられておりました。成育医療研究センターよりお越し頂いた現成育部長の小穴先生には心より感謝申し上げます。

NICUでの医療はまさに子供の一生を左右するものです。そこで人生が決まってしまうと言っても過言ではありません。したがってNICUを再稼働するにあたり、中途半端な状況は許容できません。新生児科医療に長く従事されていた新生児科医長の藤永先生を中心に、医師、看護師、助産師、臨床工学技士などが定期的に集まり、勉強会を繰り返し、再稼働に向けて入念に準備を進めて参りました。スタッフの皆様方の熱意と努力に心より敬意を表します。

当院にとりまして、いくつかの記念日があります。2004年4月1日は独法化され「独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院」がスタートした日です。2010年6月1日は新病棟がオープンした日、2012年7月31日は埼玉県より地域医療支援病院として認可された日であります。そして、2018年7月1日は小規模ながらもNICU再稼働の日であり、決して忘れることのできない記念日となりました。

以前のような規模のNICUを再稼働するにはまだ時間を要します。しかしながら、今日の一步は非常に大きいものであり、病院長として万感胸にせまる思いです。

子供たちとご両親の笑顔のために、全力で頑張っていく所存です。地域の諸先生方のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。



病院長 小村 伸朗

CONTENTS

■NICU再稼働	院長 小村 伸朗	1
■成宮前院長ご挨拶		2
■新任医師紹介		3
■教育研修部、研修医紹介		4
■健康フェスタ／防災訓練		5
■認定看護師・専門看護師便り vol.9 No.1		6
■くすりになるおはなし ⁽³²⁾	薬剤師 大熊 玲子	7
■市民公開講座のお知らせ／ご案内(案内図)		8

基本理念

“病む人に心の通^{かよ}う 質の高い医療をめざします”

お手持ちの携帯電話でも当院の診療情報の一部がご覧いただけます。



ご挨拶

独立行政法人国立病院機構

西埼玉中央病院 名誉院長 成宮 学

平成30年3月31日を以って国立病院機構西埼玉中央病院・病院長を退官いたしました。

平成8年4月に内科医長として東京慈恵会医科大学第3内科より赴任して以来、22年間在職いたしました。その間、臨床研究部長・医療情報部長として主に糖尿病の診療と臨床研究に従事していました。平成25年に入り、病院に不運が重なり病院は存亡の危機的状態となりました。当時、当院の顧問であった前々院長の竿代先生より、病院長となるようにとまさに青天の霹靂のごとき指示を受けました。私の恩師、東京慈恵会医科大学前学長で在籍していた東京慈恵会医科大学第3内科の主任教授の阿部正和先生に、“与えられた仕事にベストを尽くせ”といつもいわれていました。火中の栗を拾うことになると感じましたが、これも天の声と、即答で院長職をお引き受けしました。仕事とは、与えられた土で立派な山を築くのではなく、道端に穴が空いていて通行人が穴に落ちるのを防ぐために土を使って穴を埋めることであると思います。誰が考えてもマイナスということを引き受けるのが、仕事をするうえで重要です。誰がやっても大変だけれども、誰かがしなくてはいけないことをやるのが仕事をするうえで必要だと思います。

院長になっても多くの院長先生のように病院経営や病院管理に関しては全くの素人で、国立病院機構の院長会議に出席しても周りの先生方はまさにその方面のプロ中のプロ、まるで米国大リーグのチームに日本のリトルリーグの小学生在、何かの間違えで紛れ込んだような状態でした。私が院長に就任して最初の挨拶で病院の職員にまず言ったのは、“私は院長としての実力はありませんから、有能な監督はできません。ジェネラルマネージャーとして、みなさんのやりやすい職場環境を作る手助けをするだけです”ということでした。

自分自身を分析しても、先頭に立って旗を振り、道を切り開くタイプのリーダーではないと考えます。みんなが仕事のやりやすい環境づくりに努め、また職員一人一人が病院の命運を握っている自覚を持ってもらうようにしました。

また医師が離職などで35人まで減ってしまいましたのであらゆる情報網・人脈を通して医師確保に努め25名の医師を獲得しました。また人にも恵まれ、歴代の有能な看護部長、事務部長にはそれぞれの分野で思うぞんぶん実力を発揮して頂きました。また国立病院機構本部の医療部の方々には常に後方支援をして頂きました。在職中特に気を付けたのは、職場の人間関係が上手くいくように注意を払い、職員の方々にしばしば院長室に来ていただき皆さんのお話をよく聞くように努めました。また、常に病棟閉鎖の危機の可能性を背中に抱え、診療報酬改定、非独法化による公経済負担などによる病院経営に対する向かい風に常に立ち向かって来ました。しかしこの間、種々の障害が生じたとき、職員の頑張りやと団結力によりなんとか障害を乗り越えることができました。後で振り返ると、多少の挑発を含めて、そういったところまで職員の気持ちを高めていく、ついてきた職員は知らないうちに、自分で思っていた以上に頑張っただけで個々の持ち場で結果を出してくれたと思います。私は自分が動くことでまわりになんらかの影響を与え、予想外のことが起きて来る、触媒的な役割に徹してきました。

オーストリアの哲学者マルティン・ブーバーの言葉に、“歳を取るということは素晴らしいことだ、始めるということをお忘れなければ”という言葉があります。英語では卒業式をcommencementといいます。Commencementは、始めるという意味があります。退職は新しいことを始めることです。年の初めになにかを始めようとする人が多くいますが、三日坊主で始めてもできない人は、最初からやらない人と同じように思いますが、実は継続できる人に近いのではないのでしょうか。常に何かに挑戦しようとするのが老化の防止に有効です。院長職を解かれた後は本業の糖尿病診療、特に高齢者糖尿病の癌と認知の予防を中心とした分野に挑戦したいと思っています。長年にわたりご支援・ご鞭撻本当にありがとうございました。深く感謝いたします。

新任医師紹介



外科
江藤 誠一郎

平成30年7月より西埼玉中央病院外科に勤務している江藤誠一郎と申します。平成22年に東京慈恵会医科大学を卒業し、卒業後は同大学の外科学講座に所属しております。同病院には5年前にも勤務させて頂いておりました。

ひとりひとりの患者さんはもちろん、コメディカル含む病院スタッフのみなさんとのコミュニケーションを大切に、信頼関係のある医療をできればと思います。また、内視鏡検査・治療を含む外来診察から手術等の入院加療に至るまで、患者さんに最善の医療を提供することができるよう努力して参りたいと考えております。

初心を忘れずに努力することを怠らずに『最善の医療を』をモットーにがんばってまいりますので、何卒よろしくお願いたします。



外科
山下 貴晃

平成30年7月より西埼玉中央病院外科に勤務させていただくことになりました、山下貴晃と申します。平成27年に獨協医科大学を卒業し、卒業後は東京慈恵会医科大学の研修を経て同大学の外科学講座に所属しております。昨年は同じ埼玉県の埼玉慈恵病院で、後期研修として1年間学ばせていただきました。まだまだ不慣れな部分も多く、スタッフの皆様には多々ご迷惑をおかけしているとは思いますが、少しでも早く業務に慣れ、皆様の手助けになれるよう精進していきたいと思っておりますので、これから何卒よろしくお願いたします。



整形外科
江崎 直哉

平成30年7月1日より、西埼玉中央病院の整形外科で勤務させていただくことになりました、江崎直哉と申します。

私は愛知県の名古屋市出身で学生時代はバスケットボール部に所属していました。埼玉医科大学を卒業し、埼玉医大総合医療センターにて初期研修を行った後に、東京慈恵会医科大学整形外科に入局しました。入局後、慈恵医大本院や附属第三病院、富士市立中央病院、神奈川県リハビリテーション病院にて研修に励んで参りました。学生時代ぶりの埼玉の土地で懐かしい気持ちもあり、西埼玉中央病院で勤務できることをうれしく思います。整形外科医師としてまだまだ未熟者ですので、自身のスキルアップに励むのはもちろん、今までの経験を活かして少しでも地域医療に貢献ができるよう精進して参りたいと思っております。今後ともよろしくお願致します。



小児科
権守 延寿

2018年7月より西埼玉中央病院に小児科医師として赴任致しました、権守延寿と申します。出身は東京都で、スポーツなど体を動かすことが趣味です。

小児科医としては、救急部門を中心に一般的な風邪や胃腸炎から高次医療まで様々な分野で診療に携わって参りました。

少しでも早く病気が治るよう全力を注ぐ一方、病気と向き合うお子さんやご家族の苦痛、不安にも寄り添えるよう日々精進していきたいと思っております。

どんなことでも、気になることがあれば一緒に解決方法を考えていきましょう。

今後ともどうぞよろしくお願致します。

教育研修部、研修医紹介



教育研修部長
濱元 陽一郎

みなさんこんにちは。2018年5月より教育研修部長となりました、呼吸器内科の濱元です。当院では、教育病院として初期臨床研修医を受け入れています。しかし、NICUなどの閉鎖以降、初期研修医への取り組みや宣伝などは、大きく取り組んでおりませんでした。

田村前教育部長のお力添えもあり、2017年度よりレジナビフェア等より、当施設の初期研修教育について活動を再開致しました。本年度は、2名の初期臨床研修医が当院で研修に励んでいます。2020年度より厚生労働省からの通達で、小児科・産婦人科・外科等も必修となるスーパーローテーションに戻ることになりました。当院では、1年前倒しで、2019年度の新研修医より、当院の強みでもある小児科・産婦人科を必修にしました。更に、初期臨床研修医には必須とも言える、救急教育の研修を同じ医療圏である埼玉医科大学国際医療センターの救命救急部との協力型として締結をすることができました。

当院の研修教育は新たに再始動を始め、この教育部を小村院長とともに取りまとめて参ります。東京慈恵会医科大学や防衛医科大学の診療科も多く、様々な指導を得ることのできる教育病院であります。最終的には地域の皆様にも、知っていただける、良き研修病院を目指して、努力してまいります。



臨床研修医
森山 麗音

皆さま、こんにちは。研修医1年目の森山麗音と申します。今年、浜松医大を卒業したばかりで、4月から西埼玉中央病院で臨床研修を受けております。所沢はおろか埼玉に住んだ経験は今までなかったので、越してきた当初は戸惑うことも多々あったのですが、気づけば3ヶ月が過ぎていました。この3ヶ月は主に呼吸器内科にいました。まずは一連の業務に慣れるために、とにかくあちらこちらに走り回り、そして自分のキャパシティについて悩んでばかりいました。それでも、先生方は優しく接してくださり、「自分ができることをしっかりやればいい」とフォローしてくださったので、なんとか自分なりに研修医としての心構えの土台を築くことは現時点で出来つつあるように思います。ようやく、しっかりと落ち着いて物事を考える余裕も持てるようになりました。ただ、新しい診療科になれば、また一からスタートなので、必要な知識・手技を何度も何度も定着するまで経験する必要も出てきます。せめて、来年やってくる新しい研修医の相談に乗れるほどの水準を目指して、今年度は邁進していきたいです。至らぬ点は多々ございますが、これから回る診療科の先生方、どうぞご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。



臨床研修医
井上 錬太郎

はじめまして、今年から初期研修医として二年間、勤務させていただくことになりました。

私は埼玉県出身で県東部の杉戸町という所に大学入学まで住んでいました。大学は県外でしたが、卒業後出身地で働くことができ、嬉しく思います。

初期研修の二年間は、社会人としてのスタートであるだけでなく、今後の医師としての基盤を築く上で大きな意味を持つ期間です。今しか出来ない事、今身に付けておくべき事をしっかりと意識して仕事に取り組んでいきたいです。

趣味はサッカーで、中学ではサッカー部に所属していました。今年はW杯で日本代表も素晴らしいプレーを見せてくれているので、寝不足になりながらも楽しい時間を過ごせています。

所沢は緑に囲まれた場所で、研修に集中することのできる良い環境にあり、指導して下さる先生方やスタッフの方も親切な人ばかりで、本当にこの病院を選んで良かったと思います。

患者さんの目線に立つ事を忘れずに、地域の皆様のお役に立てるよう努力していきたいです。

健康フェスタ

今年も5月11日に看護の日イベント、「健康フェスタ」をマミーマート所沢山口店さんの2階スペースをお借りして開催しました。

「健康フェスタ」は、病気の治療だけではなく住民の方々の健康管理のお手伝いとして、また、地域住民の方々との親睦をより一層深めることを目的に毎年おこなっております。

イベント内容は、『医師による医療相談』をはじめ薬剤師や管理栄養士による健康に関する相談コーナーを設置や看護師によるAED（自動体外式除細動器）を使用した『心肺蘇生法』の実演や、体重、体脂肪測定、血圧の測定、他には助産師による『妊婦さんへのアロママッサージ』、『育児相談』、臨床検査技師による骨密度測定を行いました。



防災訓練

4月16日（月）、西埼玉中央病院附属看護学校にて、所沢中央消防署三ヶ島分署にご協力いただき、学生127名と教職員が参加する防災訓練を実施しました。

学生たちは、教室からの出火を想定した避難訓練や水消火器による模擬消火、煙ハウスの中で煙に巻かれる体験、負傷者救護のための毛布や椅子を用いた搬送法を実際に体験しました。

今回の訓練は学生・教職員にとって、火災発生時の対応や避難経路の再確認、さらに防火・防災への意識を高めるよい機会となったと思います。数年後には看護師として患者さんを安全に避難誘導する立場になることへの自覚を促し、今後の訓練を充実させたいと思います。



認定看護師・専門看護師便り

NHO西埼玉中央病院 2018年7月 Vol.8 No.2

事例検討会を開催しました

鈴木裕美 小児救急看護認定看護師

「小児のアセスメント」

小児救急の場面では、患者の病態を正確に評価することが必要です。

事例を通して、患者を速やかに適切な診療に繋ぐためのトリアージについて検討しました。

坂木晴世 感染症看護専門看護師

「発熱、発疹、沖縄に行ってきた…どうする？初期アセスメント」

今年は麻疹の流行があり、外来や病棟でも疑い例の対応に迫られました。

実際の事例をもとに、具体的な初期アセスメントと二次感染対策について検討しました。



知ってますか？事例検討会のポイントカード

認定看護師/専門看護師連絡会では、事例検討会に参加するとポイントカードにスタンプを押してもらえます。スタンプを集めると素敵な特典がありますよ。

クリニカルインジケーター フィードバック会を開催しました

認定看護師/専門看護師が活動の中で収集している様々なデータをフィードバックしました。日頃の臨床実践の評価指標として看護ケアの質向上に活用してもらいたいと考えています。次回のフィードバック会は12月の予定です。

- 皮膚排泄ケア
月別BCランク患者数（平均患者数）、月別褥瘡発生患者数、褥瘡発生率
- 感染管理
手指衛生実施状況、カテーテル関連血流感染
新規MRSA発生率、尿道カテーテル関連尿路感染発生率
qSOFAによるアセスメントの実施率、研修参加率
- がん化学療法看護
がん化学療法実施件数、病棟別化学療法実施件数、ヒヤリハット報告件数、血管外漏出率
がん患者指導管理状況
抗がん剤投与時におけるPPE着用状況に関する調査報告

NHO西埼玉中央病院には、現在7名の（社）日本看護協会認定 認定看護師/専門看護師が活動しています。「認定看護師・専門看護師便り」のバックナンバーも掲載しています。詳しくはURLをご参照ください。
<http://www.hosp.go.jp/~wsaitama/hospital/byouin/bumon/ninteikango.html>



くすりになるおはなし(35)

薬剤師 大熊 玲子

今年の夏も全国的に猛暑の予報がでています。薬も温度に注意が必要です。
今回は基本的な薬の保管方法についてお話しします。

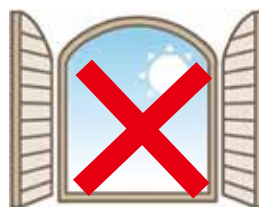
薬保管の注意点

- ☆温度： 温度が高いと変質しやすくなります。
場合によって冷蔵庫に保管すると、逆に湿気を帯びやすくなったりするので特に指示がなければ冷蔵庫に保管する必要はありません。
- ☆湿度： 湿気が多いと変質の原因にもなり、カビを発生させたりします。
- ☆光： 射日光のような強い光を受けると変質しやすくなります。



正しい薬の保管方法

- ☆包装やシートから薬を出さない
薬の包装は製薬会社がそれぞれの薬の性状にあわせて工夫を施したのになっています。
他の容器に移し替えたりせず包装やシートのまま保管しましょう。
- ☆高温になる場所や湿度の高い場所を避け、日の当たらない涼しい場所で保管
特に直射日光のあたる窓辺や真夏の車中は大変高温になります。
長時間の保管は避けましょう。
- ☆子供の手の届かないところに保管
子供が誤って飲まないようにしましょう。



冷蔵庫の保管？

- 特にインスリン製剤に関しては注意が必要です。
開封前は冷蔵庫のたまごポケット（ドアポケット）に保管しましょう。冷気の吹き出し口付近で保存すると凍結しインスリンの効力が下がったり、器具故障の原因になるため避けましょう。開封後（使用中）は冷蔵庫には入れないで室温で保管しましょう。
- インスリン製剤以外にも点眼薬や坐薬、シロップ剤でも冷蔵庫保管の指示があります。
冷気の吹き出し口付近を避けて保管しましょう。

ここに記載した保存方法以外にも特別に医師の指示がある場合はそれに従いましょう。
また、薬袋にも保管方法が記載されている場合があるので見落とさないようにしましょう。
薬の性質は多種多様でとても繊細です。保存方法を誤ると薬本来の効力が十分に発揮されない場合があります。薬を正しく保存することは薬を正しく飲むことと同じです！

参考：東京都病院薬剤師会 (<https://www.thpa.or.jp/>)

市民公開講座のお知らせ

日付	曜日	テーマ	担当	場所	時間
2018.9.28	金	薬のいろいろ	薬剤師 伊藤 祥子	研修棟研修室	14:00~15:00
2018.10.26	金	排泄のお悩み解決!! (仮)	6階病棟看護師 宇佐美 翔太・倉澤 明子	研修棟研修室	14:00~15:00

※講演日程、時間、テーマ、講師は変更となる場合があります。

※定員になり次第受付終了とさせていただきます。

※詳細は担当（経営企画係長 04-2948-5951）までご照会ください。



ご案内

- 診療受付時間 / 8:30~11:00
- 休診日 / 土・日・祝日及び年末年始
- 当院の救急輪番日

内科・外科系	毎週月・木曜日
小児科	毎週木・土曜日

※その他の日も救急随時受付しています。

●当院への交通

- (1) 池袋駅より西武池袋線 急行で35分、小手指駅又は狭山ヶ丘駅下車徒歩20分
- (2) 小手指駅南口より西埼玉中央病院行、または西埼玉中央病院・所沢ロイヤル病院前経由宮寺西行バス7分(西埼玉中央病院下車)
- (3) 狭山ヶ丘駅西口より小手指駅南口行バス7分(西埼玉中央病院下車)
ところバス右回り7分(西埼玉中央病院下車)